

# 2 農業の持続的な発展

## (1) 担い手等への農地集積・集約化と農地の確保

- 農業者の減少の加速化が見込まれる中、生産の効率化やスマート農業の展開等を通じた農業の成長産業化に向け、分散錯圖の状況を解消し、農地の集約化等を進めるとともに、人の確保・育成を図る措置を講ずることが必要です。
- このため、地域計画の策定（人・農地プランの法定化）、農地バンクを活用した農地の集約化、農業経営・就農支援を行う体制を整備するなど農業を担う者の確保・育成を図るための措置を講じ、課題解決を図ります。

### <地域計画の策定（人・農地プランの法定化）>

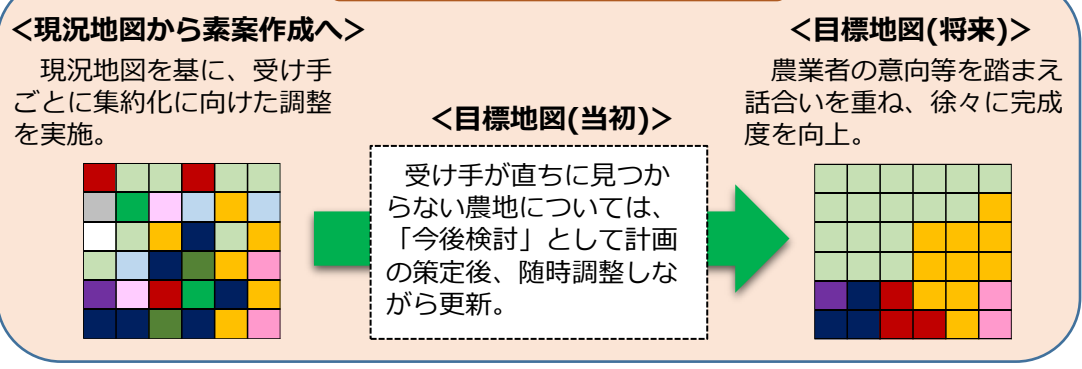
市町村は、農業者、農業委員会、農地バンク、農協、土地改良区等による協議の場を設け、将来の農業や農地利用の姿について話し合いを実施。その際、農業委員会は、農地バンク等と協力して目標とする地図の素案を作成。

### <農地の集約化等>

農業委員会は、地域計画の達成に向け、農地所有者等による農地バンクへの貸付け等を促進し、農地バンクは、農地の借入れ等を農地所有者等に積極的に申入れ。

農地バンクは、地域計画の達成に向け、「農用地利用集積等促進計画」を策定し、農地の貸借等を促進。

### 目標地図の作成手順



### 東海地域における取組

<機構集積協力金等を財源に用水路整備を実施、農地の集積・集約を実現>

- 「取組のポイント」**
- 地区内の話し合いの過程で、将来の地域農業を“何とかしなければ”という思いを共有。
  - 地域外の担い手を確保して集積・集約化を実施。

岐阜県郡上市西和良地区洲河



- 担い手への集積率 0.0% → **43.2%**に向上
- 地域内の平均経営面積 0.0ha/経営体 → **8.5ha/経営体**に拡大
- 平均団地面積 0.0ha/団地 → **1.4ha/団地**に増加